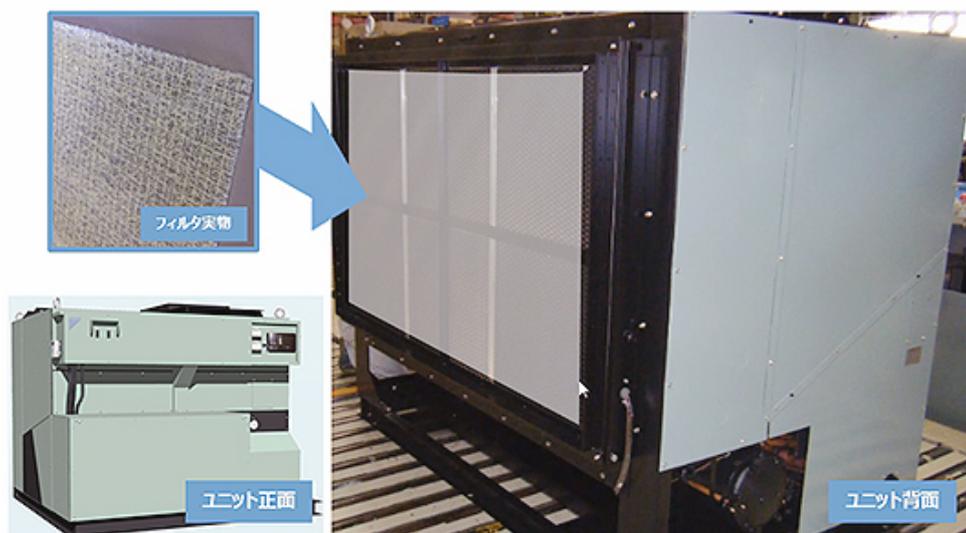


造船・船用

2020年6月26日

抗菌・抗ウイルスフィルターを船用に展開 ダイキンMR、ウイルス対策に期待

■ 船用空調装置「デッキユニット」背面へのフィルタ取付イメージ



船用空調装置「デッキユニット」背面へのフィルター取り付けイメージ

ダイキンMRエンジニアリングは今月、空調機器に取り付ける抗菌・抗ウイルスフィルター「DKF150DX」の、船舶用空調機向けの発売を開始した。特定のウイルス（1種）に対し、高い低減化率を実現しているほか、空気抵抗（圧力損失）が少なく、水洗い可能でメンテナンス性が高いことも特徴。昨今の状況を鑑み、造船・海運業界でも空調システムにおける感染防止対策への関心が高まっており、同社はウイルス対策商品として拡販を進めていく。

「DKF150DX」は、複数の薬剤を独自の混合率で含浸したフィルターで、主に空調機の吸込口に装着して用いる。カビの発生やカビによる臭いも抑制する特徴を有している。感染症対策への関心の高まりを受け、船舶におけるウイルス対策向けの可能性も視野に、特定のウイルスを用いて同フィルターの性能試験（プラーク法）を実施。その結果、特定のウイルスが低減化されることが確認された。同フィルターにより、空気中にチリやホコリと共に浮遊するウイルスを捕集することで、感染の予防が期待される。

ダイキンMRエンジニアリングは5月に抗菌・抗ウイルスフィルターのウイルス向けの効用を確認し、今月、船用市場への発売を開始した。既に客船やフェリー、タンカー向けに納入が始まっているという。同社は今回のフィルターを皮切りに、ダイキングループが有する技術を駆使して船用向けウイルス対策製品や対策システムの開発・商品化を推し進めたい方針だ。同

社企画部長の深谷荘吾氏は「抗菌・抗ウイルスフィルターを第1弾として、今後も顧客のニーズをくみ取り、最適な技術を船用向けとして開発し、商品化していきたい」などとしている。

海事プレスに掲載の記事・写真等の無断転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

© Kaiji Press Co., Ltd. All rights reserved.

No reproduction or republication without written permission.